

※推進方針は、三重県が県民の皆さんとともに、ダイバーシティ社会の実現をめざし取り組んでいこうという決意表明

～知事メッセージ～

『ダイバーシティの風おこし はじめましょう』

ダイバーシティって？

みんな一人ひとりちがう、いろんな人がいる
 そのことをいいなって思い大切にしたい

いろいろな出会いは、世界を広げる
 ささまざまな視点が、新しいことを生む

一人ひとりを大切に、たがいに思いやり、ともに輝きあう
 そんな社会にしていきたい
 未来に向けて、ダイバーシティの風を 三重から

三重県知事 鈴木英敬

ダイバーシティ (diversity) は日本語に訳すと多様性ですが、一人ひとりが尊重され、多様性が受容されることで、個人の生きがいや学び、社会の発展や新たな価値創出などにつながります。そうした多様性が受容される社会は、想定外のさまざまな変化へも適応しやすいと考え、三重県は県民の皆さんとともに、ダイバーシティ社会の実現に向け取り組んでいきます。

多様性を尊重し受け入れる
 素地があるという強みを生
 かし、チャレンジ

ダイバーシティの風を三重から起こす

2018～19年

2020～21年

2022年～

浸透

発展

拡大

実現を
 めざす

めざすダイバーシティ社会

性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などにかかわらず『一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、参画・活躍できる社会』

ダイバーシティはプラスであるという考え方

ダイバーシティは、個人・組織・社会にとってプラス

- ①違いを互いに受け入れる →能力発揮
- ②違うことに価値を見いだす →価値観・世界観の広がり
- ③違った能力が掛け合わされる →イノベーション (変革)

発想の転換や見直し (ダイバーシティの視点)

一歩先の未来に向けて6つの視点

- 視点1: 違いを知ること、伝えること
- 視点2: 交流を増やすこと
- 視点3: 互いに支え合うこと
- 視点4: みんなができるという発想を持つこと
- 視点5: 多様かつ柔軟なシステムとすること
- 視点6: 違った目線、考え方を力とすること

今後の取組展開 ～3つの推進の柱～

- ◇ ダイバーシティの考え方の浸透 ～考え (意識) を変える～
- ◇ 交流・支え合いによる進化 ～行動を変える～
- ◇ 参画・活躍に向けた変革 ～仕組みを変える～